沿線交通リデザインプロジェクト｜WILLER株式会社

2026/2/27

目的：公共交通を活用した沿線観光周遊の促進

- オンデマンド相乗り交通サービス（mobiアプリ）へのMaaS機能の追加により、アプリ利用者の利便性を向上し、インバウンドを含む観光客の周遊促進や地域住民のスムーズな移動を実現する。
- アプリ利用者のデータを取得、分析し、移動需要を可視化することで、地域公共交通や観光施策に活用するためのデータ基盤を構築する。
- 地域の事業者との連携によるクーポン等の情報提供による周遊促進や多言語化によるインバウンド対応を実施する。

事業内容：既存アプリへのMaaS機能の実装

【交通サービスの高度化】

- mobiアプリに経路検索や企画きっぷのデジタル化、公共ライドシェア予約のMaaS機能を実装し、公共交通利用者へのシームレスな移動の実現と情報提供の充実を実現した。

【モビリティデータの取得と活用】

- AIオンデマンド交通、公共ライドシェア、鉄道の乗降データに加え、経路検索や観光施設等のクーポン利用データを取得・分析し、京丹後市と議論を実施。地域公共交通や観光施策の改善や効果検証への活用に有用との意見をいただく。

【エンドコンテンツとの連携】

- 地域事業者と連携し、観光施設や飲食店等のクーポン券や体験型アクティビティのデジタルチケットの提供を開始。また、画面の英語、繁体字対応によりインバウンドの利便性向上を実施した。

効果

- 課題：従来は地域移動情報がまとまっておらず、旅行者が移動手段を検討する際に非常に手間がかかるといった課題があった。また、地域の移動の実績データが少なく、自治体が計画・施策立案時に限られた情報から判断するしかないといった課題があった。
- 効果：アプリの改善により、地域の公共交通を横断した検索や利用等が可能となり、観光客の利便性が大幅に向上した。また、取得したデータを収集・分析するBIツールの構築によりデータ集計の時間を9割以上削減し、自治体の施策検討に活用できる環境づくりができた。

【実施エリア】

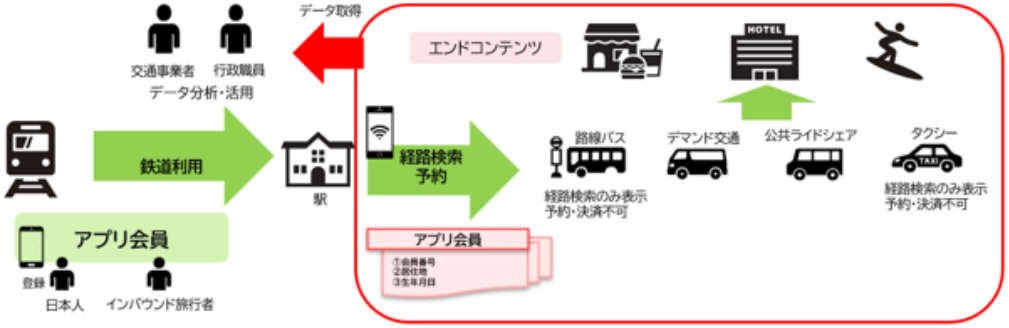


京丹後市、伊根町、宮津市、与謝野町



京丹後鉄道

【本事業の取組の全体像】



【経路検索の画面】



【デジタルチケット画面】



【クーポン画面】



MLIT
Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.

プロジェクトの効果

課題に対する効果

#	課題	効果
1	既存交通（鉄道、バス、タクシー、自家用有償、観光船）と新規交通（デマンド交通）を活用した経路を横断的に検索する手段がなく、また、利用方法も統一されていないため公共交通等の利便性が高いとは言い難い状況であった。	既存のアプリに既存交通と新規交通を横断した経路検索機能を実装。また、企画きっぷのデジタル化、公共ライドシェアの予約機能を統合し、複数の交通モードの利用が可能なアプリに改善することで、地域住民や観光客の公共交通等の利便性向上を実現した。
2	自治体職員が公共交通計画や観光施策を立案する際に、分析に活用可能なデータが不足している	データ基盤を構築し、BIツールの活用により、リアルタイムでAIオンデマンド交通、公共ライドシェア、鉄道の乗降データや経路検索、観光施設等のクーポン利用データを確認できるようになり、自治体でのデータ集計の時間短縮や施策検討に分析データが活用できる環境を構築した。
3	地域内に多くの観光資源があるものの、交通事業者による観光客向けの利用促進施策が不十分なため、観光周遊による地域経済効果が限定的となっている	クーポン提供の機能導入により、交通サービスの利便性向上と合わせた観光客の回遊と消費を促進する『地域回遊のプラットフォーム』としての基盤を構築できた。

KPI

【凡例】 赤字：目標達成　青字：目標未達成

#	測定項目	KPI	計測方法	計測頻度 回数	事業実施年度 の目標値	最終結果	達成/未達成の原因
1	アプリ利用者数	会員登録数	データベースを参照	毎月	前年同月比 +1,225名	+1,060名	降雪による運休日※が想定より多かったことと観光客以外の地域住民の会員登録が伸びなかったことが影響した。 なお、113名が本取組により、会員登録を実施（アンケート回答者を新規会員とする）
2	経路検索回数獲得による利便性向上評価	アプリ内での経路検索回数	データベースを参照	毎月	2,000回	1,294回	降雪による運休日が想定より多かったため。運休日を除いて試算すると1,920回でほぼ目標通りとなる
3	エンドコンテンツ利用者数による周遊促進効果	クーポン、アクティビティ利用者数	データベースを参照	毎月	250名	125名	多くの利用を想定したクーポンが伸びなかったため。降雪による運休を除いて試算すると185名となる
4	利用者の利便性評価	利用者のサービス満足度	アンケート	1回	アンケート回答の平均値以上	2.6	評価平均値が2.6で、平均値以上を獲得できた。 お得感に対する評価が高く、クーポンの提供が効果的であった
5	データ分析アウトプットの利用者評価向上	自治体職員の利用満足度	アンケート	1回	アンケート回答4以上	4	データ集計時間の大幅な短縮（9割以上短縮）もあり、構築されたBIツールが有用であるとの評価を得る

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserv

※降雪の影響（運休日11日）運休日0日、運休前日、翌日0.5日カウントとし、1日あたりの平均から実証日数をかけて算出。